

## A 「教室で学ぶ人間関係構築スキル」分科会

中 村 明 彦

### (1)テーマ

中学3年間の授業「ソーシャルライフ」の実践から人間関係構築スキルを考える。

### (2)発表者・研究協力者

・公開授業との関連について中村明彦（本校体育科教諭）が以下の内容で協議内容を提示した。

社会性を育む「心の教育」の実践の一環として、中学1年～中学3年を対象に、年間10時間以上の授業「ソーシャルライフ」が展開されている。公開授業では、中学2年生での「ステレオタイプに基づく認知」と中学3年生での「ゲームで学ぶ協力的行動」を取り上げた。その内容を基に、中学2・3年生での全体の流れを紹介し、生徒の取り組み状況や感想を基に問題点などを明らかにした。

・これまでの研究開発の歴史、成果と課題について木下雅仁（本校教諭）が以下の内容で協議内容を提示した。

中学1年生での取り組みを中心に、「ソーシャルライフ」導入の初年度の様子や生徒の反応、教員の取り組み状況などを中心に、学習方法の転換（アクティビティ主体の授業）、評価・測定などを明らかにした。

・「心の教育」を授業に取り入れる研究開発の理念や背景について吉田俊和（名古屋大学大学院教育学研究科）教授が明らかにされた。

### (3)分科会内容

- ・公開授業後に授業反省会が設けられたことにより、授業反省会は、質疑応答等が盛況であり関心の高さが感じられた反面、分科会では反省会以上の質問がなく発表者からの報告を聞く形になった。
- ・ワークショップ形式であれば参加者には良く理解できたのではないと思われる。
- ・吉田先生が中学2年・3年での取り組みをまとまれた本（ソーシャルライフ第2部）が完成し販売したところ、完売するほどであり、この授業に対する関心が高いと思われる。